



図書だより

No.9

上峰中学校 図書室 R8年2月発行



おしらせ

3年生へお知らせです

3年生の最終貸し出し日は**2月13日（金）**、
最終返却期限は**2月20日（金）**です。
読みたい本があったら急いで読んで下さいね！

◎二十四節気

立春りっしゅん（2月4日ごろ）

暦の上での春の始まりを指す。

初めて春の気配が現れてくるころです。

雨水うすい（2月18日ごろ）

雪や氷がとけ、雨に変わって降り注ぐ

意味で農耕の準備の目安となります。

まだまだ寒さが厳しい日々が続いていますが、春の足音はすぐそこまでやってきています。暦の上では春。梅の花のたよりも聞かれ始め、日差しにも春の暖かさを感じる日が増えてきます。早春に咲き、良い香りを漂わせる梅。奈良時代以前の歌を集めた歌集「万葉集」では、梅は100首以上も収められています。図書館にも「万葉集」がありますので、是非調べてみてください。



新しい本が入りました

校長先生
おすすめの本
です！



「6か国転校生 ナージャの発見」
集英社 キーローバ・ナージャ||著



6つの国4つの言葉で学ぶとどうなるか？
机の並べ方、筆記具、テスト、ランチ…世界の
教室はこんなに違った！「ふつう」がひっくり返り、
世界の見え方が変わる本。

ソ連（当時）に生まれ、両親の転勤で世界6か国（ロシア、日本、イギリス、フランス、アメリカ、カナダ）に転校。各国の地元校で教育を受けた著者ナージャの稀有な経験を楽しく追体験！それぞれの国での体験を切り口に、「当たり前」「ふつう」「常識」を問い直す。

正解はない、違いがあるだけ。国が変わればベストも変わる、目的が変わればベストも変わる、子どもが変わればベストは変わる—ふつうの子も、つまらない子も、変な子もいない！

世界の味方を変え、人生を変える本です！



「謎ルール」
時事通信社
内田 樹 監
高部 大間||著

学校のブラック校則、守られない就職活動の紳士協定、職場の意味不明な規則…。私たちを取り巻く理解不能の「謎ルール」は枚挙に暇がない。だが、他人に振り回されずには生きられない私たち社会的動物にとって、最大の謎はルールを必要とする「社会」それ自体。「謎ルール」の誕生は、この社会の本質と深く関係している。

なぜ人は社会を築き、互いを縛ることにしたのか。人はルールなしではやっていけないのか。ルールは人を育てるのか。

ルールへの適応に必死なルール依存症の私たちは、一体誰によるどんな支配を受けていて、本当の自由とはどこにあるのか。

社会の原点を原典に求め、教育思想家と旅する人類史約600万年の時空旅行。

読み終えたら、きっと身の回りのあらゆるルールや組織が、これまでと違って見えるはず！



「どうしたらいいかわからない時代に
僕が中高生に言いたいこと」
草思社 内田 樹||著

「自分が生きたいように生きれば
いい。そして、周りにいる友だちが
やりたいことを支援する。そうする
ことによって君たちの世代全体の
能力を高める」著者が中高生に
向けて「正直かつ親切に」語った
講演、寄稿、インタビュー。